



# 日立情報システムズ・盲導犬イッシュユ 盲導犬はかけがえのないパートナー

取材協力／日立情報システムズ

最近、『企業の社会的責任（CSR）』に取り組む企業が増えてきている。

そんな中、日立情報システムズでは盲導犬（イッシュユ）を受け入れ、そのノウハウをホームページにて公開している。盲導犬は会社でどのように過ごしているのか？ペクマガ編集部はイッシュユのパートナーである穂刈さんに取材してきた。

—穂刈さん（以下敬称略）は、会社ではどのような仕事をしているんですか？

穂刈…私は人事課に所属し、新卒採用や障がい者採用など採用業務全般を担当しています。障がい者採用では、同じ障がい者という立場からアドバイスすることにより、入社される方がスムーズに仕事ができるよう努めています。

—イッシュユは会社でどのように生活をしているんですか？

穂刈…イッシュユと一緒に6時に家を出て、8時に出勤しています。会社に出勤したら、まずイッシュユの食事とトイレを済ませます。食事は会社のビルの駐車場で、トイレは会社裏にある芝生の決められた場所や多目的トイレですませますが、地面が排泄物で汚れないよう、専用のベルトにビニール袋をつけるなど配慮しています。盲導犬は、トイレと食事の時間と回数それぞれ決まっていますので、

毎日同じリズムで過ごすことがとても大切です。

私が仕事をしている間、イッシュユは空きデスクの下で待機しています。盲導犬はパートナーを待っていることも大事な仕事のひとつです。

—イッシュユを受け入れるにあたって、職場の方が気をつけたり、会社が配慮したことは何かありましたか？



穂刈…温かく見守ってもらったことが、何より嬉しかったですね。盲導犬にはON・OFFがあり、ハーネスをつけているときは『ON』なんです。基本的に盲導犬は人が大好きです。そのため、盲導犬のユーザーと一緒に歩いているときに人に触られると、集中力が散漫になり、安全に歩行できません。ハーネスをつけているときは仕事

中なので、温かく見守ることが最大のサポートになるのです。

盲導犬を受け入れるのに、特別な設備は必要ありません。当社では、イッシュユが来るまでの間にトイレは？食事は？など考えられる問題を洗い出し、財団法人日本盲導犬協会の協力を仰ぎながら準備をしました。想定できる範囲の準備しかできませんでしたが、今のところ問題はありませんね。

—イッシュユが来たことによつて何が変わりましたか？

穂刈…安心して歩くことができるようになりました。イッシュユが来るまでは緊張しながら歩いていたので、外を歩くときはとても疲れました。正直、会社で仕事するより通勤の方が疲れたくらいです。現在は安心してどこにでも行けるようになったので、休みの日によく出かけるようになりました。

—最後にありますが、イッシュユに何か一言お願いします。

穂刈…もし魔法が使えたら一度、あなたの顔を見てみたいな。これからもよきパートナーとして、一緒に歩いて行こうね。いつもありがとう！

